

【横手市金沢地区：金沢地区交流センター運営協議会】

歴史浪漫のゲートウェイ・金沢～未来につながるまちづくり～

拠点
運営

生活
支援

歴史
継承

<地区の概要>

県南部に位置する横手市にあり、旧横手市の北部、美郷町に隣接する地区で、後三年合戦の主戦場としても知られるなど多くの史跡を有し、17集落で構成される人口2,000人弱の地区である。平成25年3月に金沢中学校、平成28年3月には金沢小学校が閉校となり、地区内の子どもと住民との交流が減少するなど賑わいが失われてきている。

<地区の取組>

平成26年に住民グループが共助組織「陣館会」を設立し、翌年から高齢者宅を中心に雪下ろし作業の活動を行っており、令和元年度からは生活道路の除排雪や間口除雪などにも活動の幅を広げている。

また、平成30年度には地域課題を明らかにするためのワークショップを複数回開催することで、地区の地域づくりを進めるための目標を定めた「金沢地区活性化計画」を策定し、令和2年3月に金沢地区交流センター運営協議会を設立し、金沢地区公民館を住民主導で事業を実施する金沢地区交流センターが稼働している。



【陣館会の雪下ろし作業の様子】



【金沢朝市の様子】

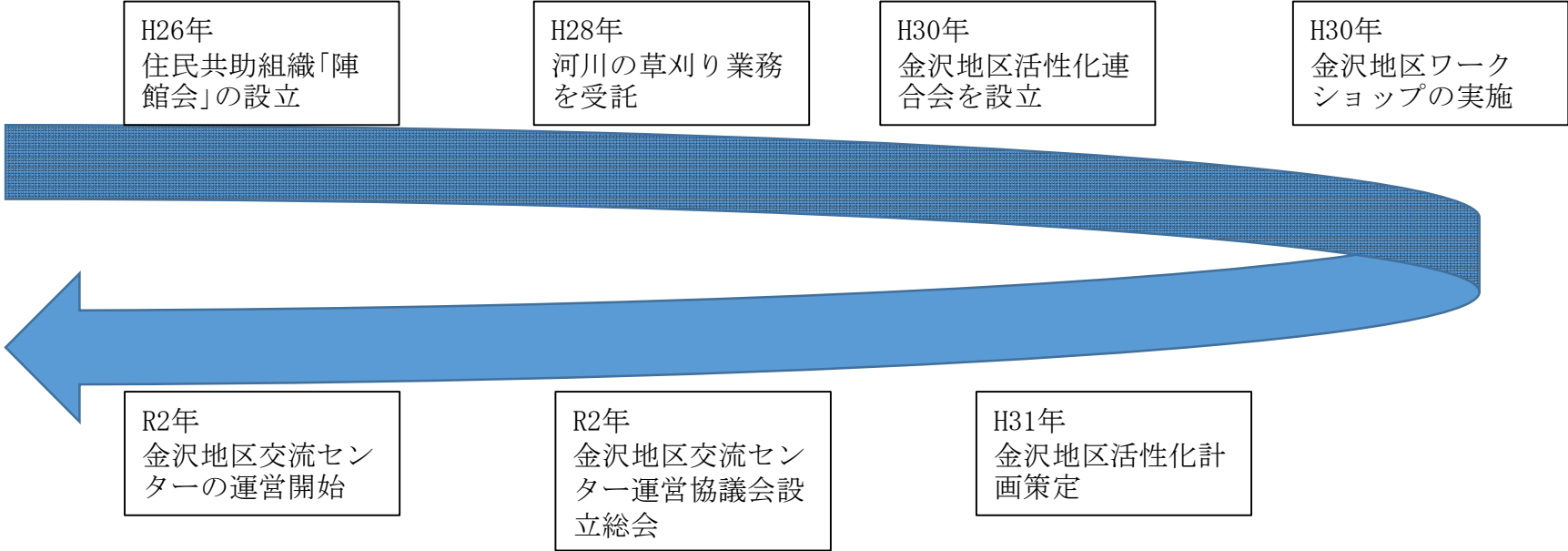
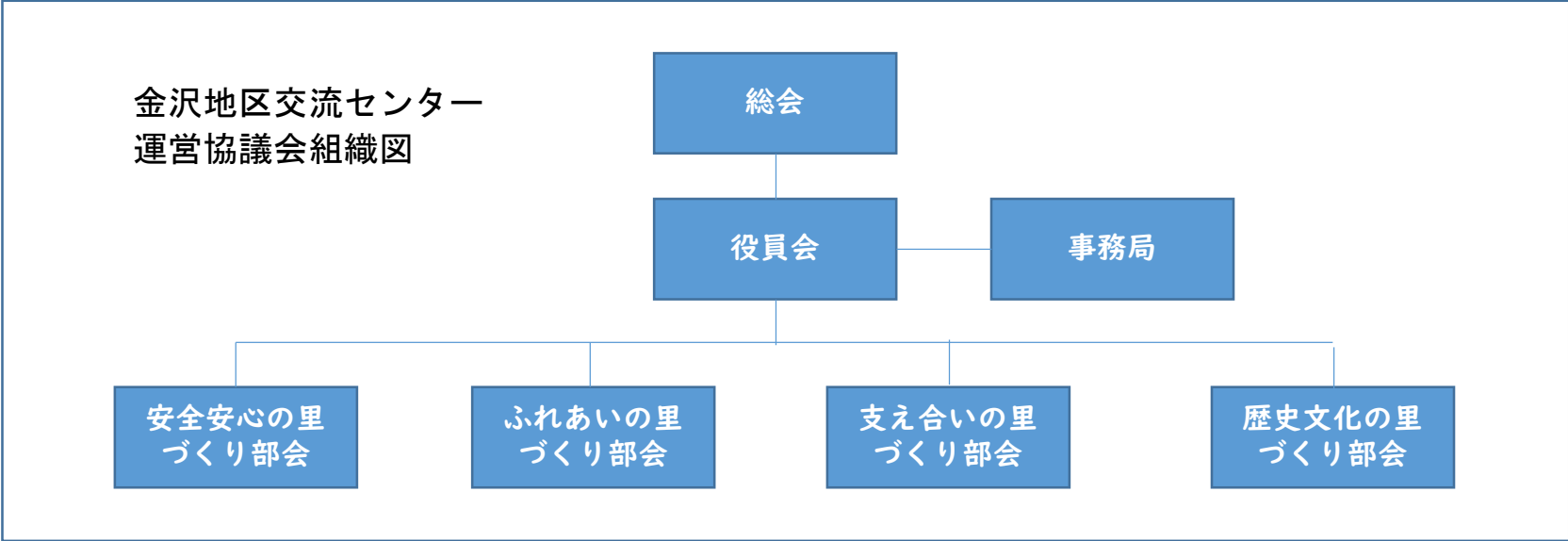


【金沢地区ワークショップの様子】

<今後の課題>

- 歴史案内人ガイドの高齢化とその育成
- 雪に関する共助組織団体の広がり
- 町内防災マップを活用した避難訓練

金沢地区交流センター運営協議会の組織図及び設立までの流れ



【活用した主な支援制度】
・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
(R元年度：総務省)